

所中だより



令和3年3月15日 第11号

学校教育目標

＜自主的な生徒＞

心豊かな生徒（感謝）

自ら学ぶ生徒（挑戦）

たくましい生徒（忍耐）

校長 岩間 健一

【特色ある学校づくり宣言】 本校は、さわやかな挨拶・心に響く合唱・地域に根ざす学校を目指します。

〒359-1118 所沢市けやき台2-44-1

TEL 04-2922-4138 (FAX:4139)

<http://www.tokorozawa-stm.ed.jp/tokorozawa-ih>

E-mail tokorozawa-j@tokorozawa-stm.ed.jp

祝 卒業おめでとうございます — 第74回卒業証書授与式 校長式辞 抜粋 —

陽春の光輝くこの佳き日、所沢市長 藤本 正人 様、所沢市教育委員会教育長 大岩 幹夫 様にご列席を賜り、そして卒業生保護者の皆様をお迎えし、所沢中学校第74回卒業証書授与式を挙行できますこと、心より御礼申し上げます。



さて、228名の卒業生の皆さん、卒業おめでとうございます。

…（中略）… 特に3年生になってからの皆さんは、コロナ禍の厳しい状況においても、この所沢中学校のリーダーとして、1・2年生の模範となるべく生徒会活動、部活動、体育祭などで力を発揮してくれました。体育祭は、例年とは異なる感染防止に配慮した種目とし、縮小した形で行いましたが、競技に全力で取り組む姿、係活動に責任を持って取り組む姿、仲間を応援する姿、順位に関係なくゴールする仲間への惜しみないあたたかな拍手、そして笑顔にあふれる皆さんの姿は、まさに下級生の手本となるものでした。私も晴れ晴れとした気持ちになりました。今年度はこのような機会がなかなか持てなかったからこそ、この機会を大切に楽しみ、よいものを創り上げていきたいという皆さんの思いが伝わってくるようでした。本年度、全校の生徒と教職員が一堂に集まったのは、結局この体育祭の時だけとなりました。それでも3年生のあたたかく、そしてたくましい姿は、しっかりと後輩たちの目に、そして心に刻まれていることと思います。…（中略）… 人は一人では生きていけません。これまでもそうであったように、これからの人生においては、自らの努力と共に、それを支え励ましてくれる人々の存在が必要です。そのような多くの人の支えに対して、常に感謝の気持ちを忘れない姿勢が、人生を明るく、楽しく、そして幸せにします。このような「感謝の気持ちを持つ人」は、周囲の人から「感謝される人」になっていくことでしょう。

…（中略）… 江戸時代の後期から明治時代にかけて生きた伊能 忠敬という人がいます。人工衛星はおろか自動車もなかった時代に、徒歩で日本全国を歩き、今の地図とほとんど変わらない正確な日本地図を作った人です。そのこと自体すごいことですが、忠敬が地図の作成を勉強し、測量に向かったのは55歳の時。今は違い、人生50歳と言われた時代のことです。彼が測量のために歩いた距離は、実に4万キロ、地球を一周したことになります。彼の生き方は、「人生に於いて何かをはじめるのに遅すぎることはない」ということを教えてくれます。私はもう忠敬が測量に向かった年齢をとっくに過ぎましたが、彼の生き方には力を与えられます。まして、皆さんはこれから生きる人達です。人生80年・90年を1日24時間にたとえると、皆さんの年齢は、まだ夜明け前の時間です。皆さんの人生には、これから朝日が昇り、輝かしい朝が訪れるのです。これからの長い人生において、何かを始めるのに遅いということはない。大切なことは、やろうと思った時に、その一歩を踏み出すこと、そして忠敬のように歩み続けることです。確かな実践を、これからの生活の中でも積み重ねていってください。

さて、保護者の皆様、お子様のご卒業、誠にありがとうございます。立派に成長したお子様の姿をご覧になり、保護者の皆様のお喜びもひとしおであろうと拝察いたします。また、これまで本校の教育活動に対して賜りました御支援と御協力に心より感謝申し上げます。最後になりましたが、本日の卒業式に御臨席をいただき、これまで卒業生を温かく励まして下さいました皆様に深く感謝申し上げますとともに、皆様の御健康と御多幸を祈念申し上げます。結びに、皆様と共に卒業生の限りない前途を祝福し、式辞といたします。

卒業生 別れの言葉 — 卒業生代表 和田 璃子 —



日差しも柔らかくなり、桜の蕾も膨らみ始め、春の息吹が感じられる季節になりました。

今日、私たちは所沢中学校を卒業します。1年前の今日、私は、在校生代表として先輩方の卒業式に参加させていただきましたが、生徒と先生方しかいない静かな卒業式だったことを覚えています。今年も在校生の参加は叶いませんでしたが、お父さん、お母さんに見守られる中で特別な卒業式を迎えることが出来ました。まず始めに、今日、この場所で、仲間や家族、そして先生方と共に卒業式を迎えられたことに感謝したいです。本当にありがとうございます。

3年生の皆さん、所沢中学校で過ごした3年間の日々を思い返してみてください。3年前の入学式、真新しい制服に身を包み、中学校生活への不安と期待を胸に、私たちはこの場にいました。まだ、知らない顔の人が多く、緊張していたあの日から3年、私たちはたくさんの人と知り合い、友達になり、ともに笑い、ともに苦しみ、ともに成長した所沢中学校の仲間として、今ここにいます。

1年生の時の一大イベントと言えば、校外学習です。クラスや班には、違う小学校から上がってきた人が多く、人見知りしながらも初めての行事にわくわくして準備したことを覚えています。そんな班員と考えたカレーのオリジナルトッピング。ポテトチップスやジャガリコなどおかしな盛り付けには班の個性があふれていました。飯盒炊爨の余韻として、ジャージがいびきされ、なかなか匂いが落ちなかったこともありました。他にも、体育祭、合唱コンクール。初めての行事で、クラスのままでも、実行委員は大変な思いをしたと思います。ですが初めての中で模索しながらの行事は私たちを成長させると共に仲を深めるきっかけとなりました。1年生の最後には、最初は遠慮がちだったクラスメイトとも、別れが名残惜しくなるほど仲良くなることができました。

2年生では、なんとと言っても自然教室が忘れられません。農業体験では、私たちを迎え入れてくれた方々の、温かさを感じながらも、農業の難しさ・厳しさを学びました。一方で、夜のイベント、キャンプファイヤーで登場した、教頭先生にとってもよく似ている「火の神」。カツラをかぶった先生方の身体を張った劇がとても楽しく忘れら

(裏へ)

れません。盛り上がったレク。みんなで踊ったダンス。一部の人の全力のダンスが面白かったです。最後に上がった打上げ花火は想像以上に大きくて、きれいで、鮮明に記憶に残っています。消灯時間を過ぎて恋愛話や、語り合った、部屋での時間。結局、先生に叱られてしまったことも懐かしい思い出です。2年生の時の体育祭、合唱コンクールは、後輩に教える大変さもありましたが、先輩になったという自覚と共に、行事への向き合い方が、1年生の時とはひと味違いました。このときは、最後の体育祭が縮小されることも、クラスで、歌う機会さえ無くなることも想像すらしておらず、当日前の日々は、ずっとずっと続くと感じていました。合唱コンクールなどの行事も、2年生で終わってしまうと分かっていたら・・・もっと工夫したり、もっと全力でやっておけばよかったと思う人も少なくないと思います。それは私自身がそうだったからです。しかし、だからこそ、私たちは当たり前だった日々

の大切さ、そして何より友達の大切さを学ぶことが出来たのだと思います。2年生で突然終わってしまった当たり前前の生活。今では、外すことに違和感を覚えるマスク。今年度は見ることの無かった学校の桜。6月から学校が始まるまで、なかなか持てなかつた受験生としての自覚。今年は色んなことが無くなって、色んな制限がありました。部活動最後の大会やコンクール、合唱コンクール、そして、何より楽しみにしていた仲間との修学旅行…全てが無くなってしまい、やるせない気持ちだけが取り残されてしまいました。特に部活動は、一緒に切磋琢磨し合っ、冗談を言い合っ、笑い合った仲間との思い出が今でも鮮明に思い出せるでしょう。2年間の集大成を発揮する場も無く、むなししい想いの人も多かったと思います。ですが、このような中でも、先生方のご尽力のおかげで開催できた、体育祭。例年と違い校庭がシャージ姿でいっぱいになりました。マスクをつけながらの練習は正直休校期間まったく運動をしていなかった私の身体にはこたえました。しかし、クラスでの最後の行事になるかもしれないという想いを胸に、共に全力を出し切れた学年種目。ソーシャルディスタンスを意識した大縄跳びは、今となっては良い思い出です。そして、だれもが驚いた先生の結婚報告。最初は皆冗談じゃないかと疑ったほどです。2学期は受験に近づく中、楽しいことも大変だったことも、たくさんありました。そして3学期。もう私たちには受験しか残されていないと諦めてかけていたそのとき、三送会が2回実施されるという知らせに涙して喜びました。本当に最後の行事となった、文化祭。この行事にかける思いは様々だったと思います。私は、受験が終わった後の開放感と、これが最後の行事なんだ、というさみしさが入混じる中でこの行事に取り組みました。今年初めてピリピリした雰囲気になった教室。この行事にかける強い思いがあったからこそ、話し合いで意見が衝突する、そんなクラスもあったと思います。でもそれらを乗り越えて完成させた劇。一から台本をつくり、配役を考え、演技練習、道具作りもして、クラスみんなで作りあげた劇。最初で最後の文化祭は、一生忘れることの出来ない最高の思い出となりました。

最後の1年は出来ないことも数多くありましたが、だからこそ、仲間との一つ一つの思い出が、愛おしく大切な宝物となりました。一緒に不安と戦い、泣いたり、笑ったり出来るのも今日が最後だと思うと、とても寂しいです。特別な一年でしたが、普通に過ごせる日々、いつも通りそこにいてくれる仲間、ささやかかもしれないけれど「とても大切な事」に気づくことができました。仲間とともに過ごした所沢中学校での3年間は決して忘れられない思い出です。そして、今まで私たちを、時に厳しく、時に優しく見守り、導いてくださった先生方、本当にお世話になりました。私たちは所沢中学校の黄金時代を築いていますか？

今まで経験したことが無いコロナ禍の中でも、こうして今まで、学び、楽しい日々を送れたのは先生方のご尽力のおかげです。私たちと関わってくれた全ての先生方に感謝の気持ちでいっぱいです。今まで本当にありがとうございました。

お父さん、お母さん、今日は卒業式に参加してくれてありがとう。一人しか参加できないことで、どちらが参加するか話し合っていましたね。義務教育修了の今日まで大切に大切に育ててくれて本当に感謝しています。これからもまだまだお世話になるとは思いますが、よろしくお願ひします。

私たちは今日この学校を卒業します。明日からは、このクラス、この学年、この場所で集まることはありません。私たちはこれからそれぞれ道を歩んでいきます。苦しいとき、つらいとき、大きな壁にぶつかったときは、ここでの日々を思い出して下さい。共に過ごした思い出が、私たちを支え、そっと後押ししてくれることでしょう。所沢中学校のさらなる発展と、仲間達のしあわせな未来を願ひ、別れの言葉とさせていただきます。

- | |
|-------------------------------|
| 埼玉県教育委員会優良生徒 和田璃子(3-1) |
| 埼玉県学校体育協会体育優良生徒 |
| 折本ひかる(3-2) 小山和生(3-6) |
| 産業教育振興会優良生徒 清安曇(3-1) |

在校生 送る言葉 - 在校生代表 奥宮 煌己 -

温かな心地よい風が頬に感じる季節となりました。今日の日曜日に所沢中学校を巣立っていかれる3年生の皆さん。ご卒業おめでとうございます。在校生一同心よりお祝い申し上げます。先輩方の卒業がこんなに早く来てしまうことに、寂しさがこみ上げてきます。今、先輩方との思い出を振り返ると、先輩方は常に私たちの目標であり、心の支えでもありました。そして、いつも私たちの背中を優しく押してくれていました。

僕は生徒会本部という仕事の中でたくさんの場面で背中を押してもらいました。そんな先輩方が部活や勉強で、自分の夢のために試行錯誤し、努力してこられた姿も、私たちはずっと目にしてきました。

部活動では、優しく時には厳しく、的確なアドバイスをくださいました。先輩方の真剣に取り組む姿、大会で涙する姿に、僕たちも、そんな先輩になりたいと感じました。先輩方は最高学年として、全体をまとめ、明るく声をかけてくださる行動力、そのすべてに先輩という威厳を感じました。僕はそんな先輩方の姿にあこがれを抱くと共に、圧倒されました。先輩方の背中を見て、私たちは成長しました。そして、今の所沢中学校が作られていったのだと思います。

今年の三送会では、在校生全員で、感謝の思いを直接伝えることはできませんでした。各学年の出し物では、1、2年生からの感謝の思いが詰まっていたと思います。三学年廊下の藤の花、ちぎり花で作った世界の名所・日本の名所、階段の花、先輩方が手に持っていた旗、すべて3年生への感謝を伝えるために1、2年生が作ったものです。これらすべてに3年生への強い感謝の思いが込められています。

今の私たちでは先輩方には及ばず、至らないところもあると思いますが、先輩方と過ごした日々を誇りを持ち、先輩方が守ってきた三本柱、築き上げてきた伝統を受け継ぎ、守っていきます。自分を見失うことなく夢の実現に向かって進んでいくことは容易なことではないと思います。自分の思った通りにいかないこともたくさんあると思います。しかし、そんな時こそ先輩方がこれまで乗り越えてきた、苦難や仲間との学校生活の中での楽しい思い出、この所沢中学校で学んだ多くのことが役に立つことだと思います。仲間たちとの温かい絆を生涯の宝とし、信念をもって未来を切り拓く先輩の姿をずっと追いかけていきたいです。

最後に在校生を代表しまして、今まで本当にありがとうございました。先輩方はこれからもっと広く、大きな世界へと歩き始めます。先輩方にとってこの所沢中学校での日々が誇りとなり、様々な場面で支えになることを願っています。また先輩の名に恥じぬ所沢中学校の新たなる伝統を築いていくことをお約束します。

先輩方のさらなるご活躍を心よりお祈り申し上げ、送る言葉とさせていただきます。

